

湯川記念館  
 (第2回 湯川記念館史資料室)  
 ©2022 YHAI, IITP, Kyoto University  
 京都大学基礎物理学研究所 湯川記念館史料室

	9.30 ~ 12.00 午前	2.00 ~ 5.00 午後	5.30 ~ 6.00
7日	湯川: 開会の挨拶 [キューバ以後の世界情勢] 田中: 地域的安全保障と 封じ込め政策との関係性— 座長: 三村	[アジアの中の日本] 佐久間: —アジアにおける戦 争と平和の問題— 野上: —アジア科学者会議の 可能性— 1人の思考実験 座長: 久野	記 者 会 見
8日	[アジアの中の日本] 江口: —世界史の中の日本 — コメント: 朝永 座長: 三宅	[科学者の社会的責任] 久野: —職業倫理と 市民倫理— 坂田: —組織の問題— コメント: 佐久間, 野上 座長: 末川	
9日	[全体討論] コンミニエーションについて 三村: 開会の挨拶 座長: 朝永	4.00 ~ 5.00 合同記者会見 —新島島本—	6.30 ~ —新島市公会堂— 平和と創造に関する シンポジウム

49 原? 云々  
 5/16

1963 (1)

5/17/10	9:30 湯川, 坂田 (三村)	2~5 坂田, 湯川 (坂田)	5:30 湯川, 坂田 (坂田)
8	10:30 三上 (坂田)	9:30 坂田, 湯川 (坂田)	6:00 湯川, 坂田 (坂田)
9	8:30 坂田, 湯川 (坂田)	2:00 坂田, 湯川 (坂田)	6:30 湯川, 坂田 (坂田)

spokesman  
 坂田 (坂田)

9:30  
 special topics

Communique:

9/18 8:45 坂田 (坂田)  
 坂田対話会: 久野さん, 湯川  
 坂田の報告: 坂田

湯川: 湯川の報告  
 坂田: 地域的安部隊から地球の安部隊へ  
 坂田: アジアにおける戦争と平和の物語  
 坂田: アジアの戦争と平和の物語  
 — 一つの試み —

三上: 世界史的経済の発展  
 坂田 世界史の下の坂田

湯川記念館 1962

1962

©2022 YHAL, YITP, Kyoto University

京都大学基礎物理学研究所 湯川記念館史料室

(2)

1. 湯川記念館の歴史と発展  
2. 湯川記念館の施設  
の概要

記録:

(名称): 湯川記念館, 湯川記念館  
(名称): 湯川記念館, 湯川記念館

special topics

- 湯川記念館
- 湯川記念館
- 湯川記念館
- 湯川記念館
- 湯川記念館

5月1日 5月17日  
南信の旅行

9月30

58年(一年前の)5月7日から9日、東京で第1  
回の研究会を開催したが、この後、GUTS ~~研究会~~  
研究会のメンバーが、第2回 ~~研究会~~ 研究会を  
開催した。5月7日から17日まで、  
この研究会は、

この研究会の目的は  
ラ・プラタ、バグダッド、会場の選定、  
研究会と ~~研究会~~ 研究会、  
研究会のメンバー  
研究会と研究会  
研究会と研究会  
研究会と研究会、研究会の ~~研究会~~ 研究会を  
行った。  
研究会の ~~研究会~~ 研究会は、研究会の ~~研究会~~ 研究会  
こと、(研究会 ~~研究会~~ 研究会) 研究会 ~~研究会~~ 研究会  
研究会 ~~研究会~~ 研究会 (研究会 ~~研究会~~ 研究会) 研究会  
研究会 ~~研究会~~ 研究会、

研究会 ~~研究会~~ 研究会、研究会 ~~研究会~~ 研究会  
研究会「研究会 ~~研究会~~ 研究会、研究会 ~~研究会~~ 研究会  
(研究会) ~~研究会~~ 研究会、(研究会 ~~研究会~~ 研究会)  
(研究会 (4) 研究会、研究会 ~~研究会~~ 研究会)  
研究会 ~~研究会~~ 研究会、研究会 ~~研究会~~ 研究会  
研究会「研究会 ~~研究会~~ 研究会」  
研究会 ~~研究会~~ 研究会、研究会 ~~研究会~~ 研究会  
研究会 ~~研究会~~ 研究会、研究会 ~~研究会~~ 研究会  
研究会 ~~研究会~~ 研究会、研究会 ~~研究会~~ 研究会  
研究会 ~~研究会~~ 研究会、研究会 ~~研究会~~ 研究会

"Pippard" の  $\mu_S$  (14) 24 1275 L 20 4432  
として "何故  $\mu_S$  が" という approach を  
おこなった。

その  $\mu_S$  が  $\mu_S$  である。 ~~これは  $\mu_S$  である~~ <sup>この</sup>  $\mu_S$  を  $\mu_S$   
として  $\mu_S$  である。 ~~これは  $\mu_S$  である~~ (原稿中)  
の  $\mu_S$  である。  $\mu_S$  である。  $\mu_S$  である。  
この  $\mu_S$  である。  $\mu_S$  である。  $\mu_S$  である。  
 $\mu_S$  である。  $\mu_S$  である。  $\mu_S$  である。

この  $\mu_S$  である。  $\mu_S$  である。  $\mu_S$  である。  
 $\mu_S$  である。  $\mu_S$  である。  $\mu_S$  である。  
 $\mu_S$  である。  $\mu_S$  である。  $\mu_S$  である。  
 $\mu_S$  である。  $\mu_S$  である。  $\mu_S$  である。

$\mu_S$  である。  
 $\mu_S$  である。

$\mu_S$  である。  
 $\mu_S$  である。

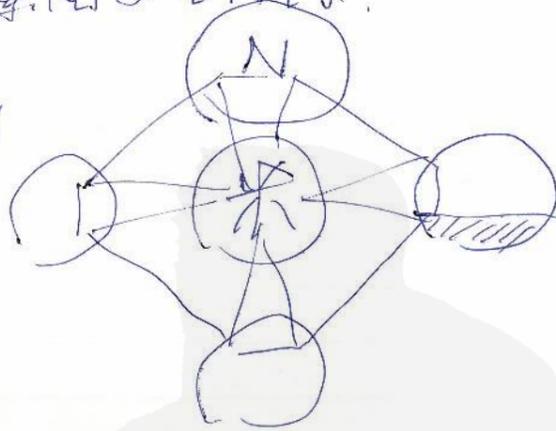
$\mu_S$  である。  
 $\mu_S$  である。



問題 1. 国連憲章 51条: 自衛権, 個別的自衛  
52条: 集団自衛権

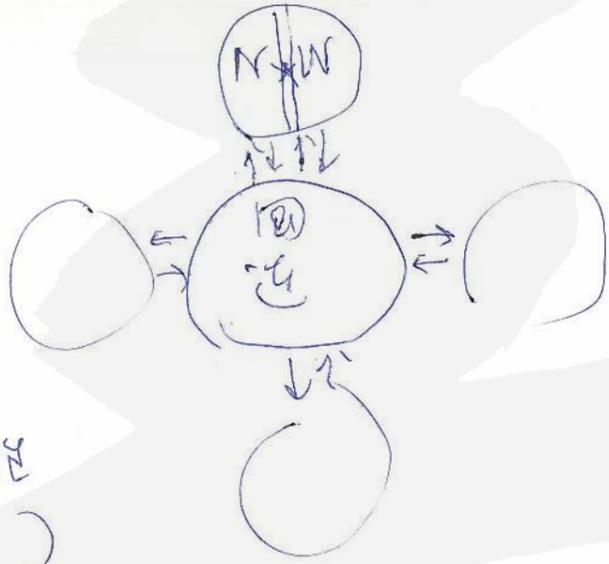
WWMCCS  
World-wide Military  
Command and  
Control System

国連憲章の解釈  
のたのしみ



2. 国連安保の地方

国連安保  
90周年  
国連憲章の意義



3. 戦争の可否性  
戦争の可否性  
平和の可否性



中印関係  
4ページ目(14)

同色紙入  
東風西風

論理学的

野上扶世郎: アジア科学者会員の可能性について

Gedankenexperiment

アジア-アフリカ分岐 (芸術系)

中国科学者

1949~1959 の十年間の科学者会員の報告

英訳あり

Chinese Academy of Sciences  
Communist China

25 Oct. 1960

mass line 路線

12年計画 (1956~1967)

senior scientist の数 300人 (1959)

Institutes of Academia Sinica

科学者の数 105 (1959)

科学者の数 % ~ 1 (1957~1960)

アジア-アフリカ分岐 本2回 カイロ

数分岐?

5月17日紙

1. (谷川) 原子力発電所,  
{24社共同,  
元島  
松山

2. 原子力発電の現状 (現況)  
原子力発電所計画、第一号 36年級 ~ 40年級  
第二号 41年 ~ 45年  
(原子力発電)  
原子力発電所: 原子力発電  
原子力発電システム  
原子力発電

3. 原子力発電の現状 (現況)  
a. 原子力発電について  
b. "人民の力が" 原子力発電、原子力発電を保持する  
の重要性  
c. Pugwashとの関係。人民の力 → 世界全体の  
人民の力。  
d. 原子力発電をつくらせようとするか? 民間に行かせる  
べきか、政府による。  
原子力: 10年かかっても作らせない。  
(原子力発電)  
原子力 4号機 2~3年 (1958年)

4. 原子力発電所。  
原子力発電所 → 100メガトン  
原子力発電所 648ドル

5月8日:

午前: 花巻 三宅 "ア:アのアのAア" っつて

午後: 世界史の中の歴史,

主権的意識: 戦前戦中の歴史の回復をどう  
いう風から考えるか

世界平和: 戦後地域の人民の生活の改善と  
関係 (発展の手段と世界平和との関係)

戦後の: 戦後の歴史 ⇒ 戦争=歴史

(ii) キュービ: 文藝 ⇒ ラジオ・テレビの威力,  
戦後開拓の成果と 近代戦時中行政の歴史

1. 史学の方法:

1. 史学的方法: マルクスの歴史観と歴史学, 歴史学の歴史の  
回復 (ii) 明治維新の歴史

戦前戦中の歴史, 戦後開拓の歴史との違い

どういう次元から考えるか (1-75)

明治維新に由来する歴史学

戦後の歴史 (ii) 戦後の歴史から

平和意識: 1949年以降

(ii) 戦後政治史の中の近代史的な意識

1960 年以降の世界史の歴史学

歴史学の方法: 戦後の歴史学

歴史学の方法: 戦後の歴史学

戦後の歴史と戦後開拓



社会は

国際社会: 社会主義国・資本主義国・地域国家の入り交じり、  
EU-12の19の国・発展途上の国、  
ドイツが入る。→ 19. 9. 19の国、1. 1. 19の国 ...  
[20] 国連: 社会主義国; 中国が五大国の一つ  
に入ります。

経済的成長の仕方

例: 日本、アジア、米州とSから発展する  
国の成長、有利か

中国の問題

i) 軍事力、経済力に於いては論議の社会と経済  
ii) 政治的成長  
iii) 政治的成長  
iv) 政治的成長  
核開発: "理論" "実" "力"  
『北極圏』 (1962)  
"何故か" → 理論

世界の地図

主権性の高さ。

中国: 国内のあり方と経済の社会的責任  
主権、人口、資源、環境、水、山

科学者の文化の責任

巻頭: 湯川氏

久野氏: 職業倫理と市民倫理

科学と社会の責任

1972. 人文・社会 = 共通する課題

Universal

科学者の活動の歴史の物語の連続の上に科学が成り立つ, 科学者の責任を処理するための

framework

initial condition, universal law

result

科学者の活動の歴史 (誰が何をしてきた)

科学と社会の分離 (再統合を求めて科学者の責任を問う?)

科学者の責任

科学者の責任の所在 (国民・市民)

科学者の責任の所在 (自由の責任を問う?)

科学者の責任と社会の

Max Weber, Wissenschaft als Beruf (職業倫理)

科学者の責任を問う?

科学者の責任を問う?

科学者の責任を問う?

科学者の責任を問う? cooperation の過程

Freud: Freedom and Organization

科学者の責任を問う? socialism

科学者の責任を問う?

科学者の責任を問う? → 科学者の責任

process of science → total social

process of science → durchsichtig in

物理的・数学的 正確性・理性  
全無としての盲目性  
社会生活の reproductionの形式

科学者の自己反省か、  
他人が反省するか、  
科学の権威が持つ社会生活の一領域の消費、  
科学の専門化、

科学者の一つの側面 unified science  
i) 物理学者同士の grouping → 理論・実験・応用  
例：  
physicalism  
psycho-behaviorism } 言外  
societism } 科学者  
historicism } 科学者に対して  
いない、

(例) 科学者同士の三原則、  
ii) 科学者同士の協力による社会  
進歩に対する貢献を見せられるのか、

科学における理性は 社会における理性の部分、  
理性の究極の形式は科学にある。  
disinterest interest  
市民の現実を語らざる、  
科学者？  
個人？

科学者としての社会的責任、  
国際的価値としての科学者  
文化:

Sartre: 文化の形式主義. ("世界" 11月号?)

科学者: 科学の問題

(Akademische Freiheit (Weber)  
科学者の自由

1930年代: Prescott, Ronald  
Perrin, Hargreaves, Joliot-Curie

CNRS 世界科学連  
世界平和協同会

FAS  
Pugwash 運動

科学者の国際協力の目的  
国際間の科学者間の協力の原則

科学者の地位: 本-カニの. 右南人の地位.  
科学者としての地位.  
科学者連

コメント: 科学者連の役割.  
国民運動. 加藤水素運動. どうつなげるべきか.  
科学者の立場からどうすべきか!

(16)

©2022 YHAL, YITP, Kyoto University  
京都大学基礎物理学研究所 湯川記念館史料室

is: Communiqué of IJ  
科学者と市民社会

科学者と市民社会の対話

UNESCO

